製剤別比較表（案）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 後　　発　　品 | 標　準　製　剤 |
| 製　品　名 | パロキセチン錠10mg｢フェルゼン｣ | 現在、該当する製品はございません |
| 販売会社名 | 株式会社フェルゼンファーマ |
| 薬　　　価 | 11.60円／錠 |
| 薬価の差 | － |
| 規格｢一般名｣ | 1錠中 日局パロキセチン塩酸塩水和物 11.38mg （パロキセチンとして10.0mg） |
| 薬効分類名 | 選択的セロトニン再取り込み阻害剤 |
| 効能・効果 | うつ病・うつ状態パニック障害強迫性障害社会不安障害外傷後ストレス障害 |
| 用法・用量 | * **〈うつ病・うつ状態〉**

通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20～40mgを経口投与する。投与は1回10～20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。* **〈パニック障害〉**

通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして30mgを経口投与する。投与は1回10mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日30mgを超えない範囲で適宜増減する。* **〈強迫性障害〉**

通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして40mgを経口投与する。投与は1回20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日50mgを超えない範囲で適宜増減する。* **〈社会不安障害〉**

通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回10mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。* **〈外傷後ストレス障害〉**

通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回10～20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。 |
| 添　加　剤 | デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、リン酸水素カルシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール6000、ポビドン、三二酸化鉄 |  |
| 性　　　状 | 淡紅白色のフィルムコーティング錠 |
| 直径6.6mm　厚さ2.9mm質量119mg | 識別コード |  |  |
|  | F10 |
| 標準製剤との同等性 | 【溶出試験】pH6.8，50rpm※標準品：パキシル錠10mg | 【生物学的同等性試験】※標準品：パキシル錠10mg※血漿中濃度、Cmax､AUC等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数･時間等の試験条件によって異なる可能性がある。 |
| 連　絡　先 | 株式会社フェルゼンファーマ　TEL：03-6368-5160　FAX：03-3580-1522 |

（2025.06）